



第49号

編集・発行人
ふれあいサンホーム編集委員会
<http://www.ksunhome.or.jp>

2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017

厚労省研究事業

介護ロボット「HAL」を導入しました！



平成27年度介護ロボット等導入支援事業特例交付金の事業採択をうけ、介護ロボット「HAL」の導入計画を実施しています。導入目的としては

- ① 介護職員が体に装着し、利用者を抱えやすくし職員の負担を減らす。
- ② 厚労省の研究事業であり今後3年間のデータを収集し国へ報告する。
- ③ 今後の介護報酬改定の際にロボットを導入した施設の人員・設備基準を緩和する等の参考資料を得るため 等

『私と娘の1年間』

あわらサンホーム

加茂 麻梨子

2016年春、私と娘は新しい環境でスタートを切りました。私は入社、娘は入園。右も左も分からない場所です。離れて生活することなど心配でしかありませんでした。そして私の予想は的中。娘は新しい環境に慣れず泣いてばかりの日々が続きました。私はいつと、一つのことを理解する前に次から次へと入ってくる情報の多さに焦るばかりの日々でした。3ヶ月ほど経ち、私が仕事の流れに慣れたころ、娘は泣かずにクラスまで行けるようになりました。この1年間、場所は違いますが、いつも側で、いつも一緒にたくさん、ことを吸収し学び悩み少し大きくなりました。

介護職歴は7年目。以前と違うのは娘がいることと自分の心にゆとりを持つようになることとです。日々の業務に追われず、ご利用者やご家族の心に耳を傾けること、そしてその人の心に寄り添うことを大切にして思いやりのある介護職員でい続けたいと思います。

「ママのお仕事はおじいちゃんとおばあちゃんのお世話をすることだね」娘にそう言われる度、気を引き締めて仕事に励むことができています。まだ幼いですが、娘なりに親の仕事を理解し応援してくれているようです。一番近くで応援し、支えてくれる家族に感謝して、今後も仕事に励んでいきます。



2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017

電動車椅子贈呈式

「利用者の福祉向上のため」

平成二十九年一月十六日に電動車椅子の贈呈式を実施しました。

「平成二十八年年度電動車椅子贈呈事業」に応募したところ、障害児(者)の福祉向上を目的に毎年各種助成事業を実施されている公益財団法人みずほ福祉財団様から、このたび電動車椅子を寄贈されることになりました。

贈呈式終了後、利用者による、寄贈された車椅子の試乗を行いました。

今後、電動車椅子への移行を検討している利用者に対して、試乗や訓練をすることで、操作の練習や移行への見極めを行い、安全に使用できるように支援していきたいと思えます。



介護ロボット

「HAL」導入

「職員の腰の負担を軽減」



金津福祉会では、2月に北陸三県で初の介護ロボット「HAL」を導入し、3月に事業所別研修を実施しました。

「HAL」は腰に装着し使用するロボットで、車椅子に座った利用者を抱き起こすときなどに腰への負担を軽減することができます。

研修会では、事前にメーカーの方から指導を受けた専任職員がスライドで説明後、実際に「HAL」を装着し、腰への負担の軽さを実感しました。

厚生労働省の特例交付金を活用しており、これから、今後3年間のデータを収集し国へ報告を行っていきます。また、「HAL」を積極的に使用し、利用者のサービスの向上にもつなげていくと考えています。

チャリティーキャラバン



全国で人形劇を披露しているNPO法人の劇団「おはなしキャラバンつばさ」の方たちが訪問され、チエコ民謡「ホンザときつね」を披露してくださいました。利用者の方だけでなく妙案寺こども園の園児らを招きました。

利用者とは、利用者たちと一緒に歌を歌って登場人物を応援したり、客席の方に飛び出してきた人形と触れあったりして、とても楽しそうな様子でした。なかなか人形劇を観ることはないと思うので利用者も園児たちにとっても大満足な1日になりました。

編集後記

あつという間に1年が過ぎ、梅の季節となりました。前年度はどのような年だったでしょうか？

今年度も気を引き締めて、業務や行事に励みたいと思います。

総務課 渡邊



2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017

新年会



あわらサンホームでは、新年会を実施しました。新年ということで書初め大会を行い、自分の好きな文字と名前を書いてもらいました。筆で文字を書く機会はなかなかありませんので最初はむずかしそうな様子でしたが、好きな言葉を筆で書く姿はとても楽しそうでした。

書き終わった後は、利用者と職員の全員ですごろくを行いました。マスには体操を中心とした内容が記入されており、楽しみながら体操をして、気持ちよく手や足のリハビリを行うよう努めております。利用者からも「久しぶりにこんなに笑った」「良い運動になった」と言ってもらえ、満足な1日になりました。

チョコレートフォンデュ

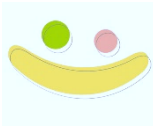


2月14日はバレンタインデーということで、チョコレートフォンデュをしました。チョコレートを溶かし、マシュマロやバナナなどのフルーツ、ドーナツなどをチョコレートにつけて美味しく頂きました。

クリスマス会



今年のクリスマスも唱歌の先生が指導する合唱団の方を招き、クリスマスソングや懐かしい曲19曲を披露していただきました。利用者にも楽器を持っていただき一緒に楽しく演奏することができました。トイレトペーパーの芯とフェルトを活用しサンタとトナカイも作りました。



2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017 2017

武生南小学校交流会



子どもたちの 触れあいを通して

平成二十九年三月八日に武生南小学校の中等部の子どもたちが越前たけふサンホームを訪れました。

小学生の方は利用者とのさまざまな遊びを考案してくれました。昔遊びや折り紙、カルタなど小学生の子どもたちと一緒に遊んでいると昔に戻った気分になり、利用者の方たちに笑顔が溢れました。また、ボーリングやなど、マジックなども行い、利用者の方々はとても喜んでいらっしゃる様子でした。

その後、小学生の方がリコーダーという楽器を演奏してください、小学生のころを思い出し、感動し泣いている利用者の方もおり、とても楽しく忘れられない1日になったと思います。



武生菊人形

平成二十八年十月十三日に越前武生菊人形を訪れました。

OSKの劇を鑑賞したり、菊人形を作っている工程を見たりして、とても楽しそうな様子でした。その後、全員で昼食をとり、お土産などを買っていた利用者もいました。久しぶりに外出し、良い思い出となったと思います。



民謡ボランティア

平成二十八年十月二十八日に民謡ボランティアの方たちが訪問されました。さまざまな民謡があり、最後に利用者で民謡ボランティアの方と職員、全員で「炭坑節」を踊りました。全員で輪になって踊り、とても盛り上がりました。